

第一種

秘

竹嶋

群 1  
1111

780  
冊の内



竹島漁獲令噴會社營業成績略

昭和十三年六月

竹島漁獲令噴會社營業成績略 (明治三十八年分)

草ニ損益ノミナリ島定セハ本社本年ノ營業ハ必シモ失敗ヲ以テ論スハアラスラシモ然カモ營業ノ大体ヲ通觀セハ全ク失敗ニ歸セリトセサルヲ得ス

八尺以上ノ牡(鹽皮一枚平均海鹽四斗)ヲ擇ビ其捕獲ヲ五百頭(鹽皮約四千五百貫)

以內ノ制シ全島四分ノヲ畫シテ保護場トシ保護場外ノ巡獵ヲ毎日一回

以下ノ限ラントスルハ本社ノ竹島海鹽ニ對スル蕃殖保護及ニ捕獲制限ノ方

針ニシテ資本ヲ充實シ設備ヲ完全ニシ製造ヲ十分ニシ以テ利益ヲ増進シ

トスルハ本社營業ノ素志ニタリシナリ然而レテ本年ハ實ニ此方針素志ノヲ

モ貫徹實行スルヲ得サリキ

本社ノ營業開始前海鹽カ將ニ群集セントスル尤モ大切ノ時期ニ際シ

多數ノ密獵者ガ程度ノ濫獲ヲ逞フシテ痛ク海鹽ヲ駆逐セシヲ以

テ竹島ニ於ケル本年海鹽ノ群集ノ營業收支損益ノ關係上保護場

竹島

ヲ致ケ捕獲ヲ制限スル等本社ノ理想実行ノ餘裕ヲ存セザリキ本年  
漁場ニ於ケル夫ノ怠慢及ビ其同盟罷業ハ畢竟彼等カ本社ノ  
蕃殖保護ヲ主トセル漁場規定ニ反對セシ結果タリシナリ然レド  
モ海驢分晩期(指)ニ際シ人丈等カ主トシテ狂ヲ捕獲シ大ニ北  
捕獲ヲ節制シタルハ本社カ僅カニタトスルヲ得ル所ナリトス  
彼ノ密獵者ニシテ漁業ノ許可ニ加リ本社ニ入ルヲ得タルモノハ本社ノ結社ニ  
際シ或ハ其密獵ヲ其儘本社ノ營業ト爲シ以テ彼等ガ密獵中  
ニ被リタル損害ヲ巧ニ本社ニ嫁セトシ或ハ其密獵中ニ使ヒ古ルシタル  
器具物品ヲハ新規購入ノ價格ヨリモ不慮ノ高價ヲ以テ本社ニ強  
賣シ換テ以テ一方ニ奇利ヲ博シ一方ニハ出資ノ負擔ヲ通シト企テ或  
ハ事業ヲ各自別々ニ經營セシフトテ主張スル等獵期切迫シテ種  
々ノ紛擾ヲ醸シタルヲ以テ本社ハ折會上豫定ノ資本ヲ募リ完全

ノ設備ヲ爲スト能クシテ營業上空シク多大ノ利益ヲ毀損遺  
棄シタリ例ヲ舉クレハ資本セキ爲メ新及ビ密獵社員ノ密獵ノ損  
耗ヲ幾分補償セシカ爲メ本社ハ別ニ母船ヲ備フルコトヲ爲サシテ  
彼等ガ密獵中ニ使用シツアリタルモノヲ使用スルコトニシタニ彼等  
ハ自私ノ用ヲ主トシ若クハ中途運賃ノ増給ヲ強請スル等頗ル本  
社ノ運用ヲ阻碍シ航海ヲ渋滞セシメタルヲ以テ漁場ニ在テ度々日  
用必需品ノ材料欠乏ニ困頓セリ即チ六七月ノ交ハ燃料ニ欠乏ヲ  
生シテ一頭平均一箱(或斗)余ノ油ヲ採製スル得ラリ、尤モ肥滿(海驢)交  
後ニ於テ大ニ肥滿ヲ興ニス而シテ交後(六月末)ニ見海驢約百九十頭分ノ脂肪  
北分(交後)より同様にシテ離散期(三月)ニ見海驢約百九十頭分ノ脂肪  
ヲハ盡ク腐敗セシメ僅カニ半價ヲ保テル惡質油ヲ余箱ヲ採製セシ  
ノニテ空シク遺棄シタリ又々七月十日人丈ノ同盟罷業ヲ強テ更ニ  
將大勵ヲ加ヘタル結果總負大ニ奮勵シ捕獲額頗ル増進セル際

海驢

シ其十四日空り食塩、欠乏ヲ告ゲ徒、捕獲ヲ休止セザルヲ得ザルニ至リタリ事情此、如クナリシヲ以テ肉骨等ニ至テハ、幾分ヲモ採製スルト能ハズ概シテ遺棄シタリ試ニ斯、如キ本社ノ損算ヲ計算セバ、茲ニ廿月以上ニ達スナリ

本社ハ如上ノ失敗ヲ為シタル上更ニ製品ノ販賣、ソモ蒸シリ即チ本社ガ去ル八月申分ニ餘賈ノ塩皮ヲ大阪ニ輸送シテ其販賣ニ着手スルヤ恰カモ彼ノ密獵者等、品ガ彼地多數ノ依託販賣業者、手ニ分レテ販賣サレタル時ニ會セリ彼地有在ノ販賣業者住源事梅西源造、海鹽皮販賣ヲ一手ニ掌握セガ爲メ、商略トシテ北皮百磅拾五円以上ヲ保テ市價ヲ故ラニ拾圓前後ニ賣角シ居レリ本社、斯ル商略ニ殉スルト能ハザルヲ以テ暫時販賣ヲ躊躇シ徐ニ市價回復ヲ待チツ、アリタル、端無クモ手紙談

判ノ影響著ク受ケ市價、暴落ニ遭ヒ全ク販賣ノ機會ヲ失セリ今日強テ大阪ニ於テ販賣セバ本社ノ營業利益ノ大部分ヲ喪ハサレテ得ズ然レトモ本社ハ別ニ一新販路ヲ発見セリ此新販路ニ就テ今日マデニ本社ガ遂ニ調査ニシテ幸ニ大ニ誤ナク大阪ニ於テ販賣上ノ失敗ヲ償フテ餘アルナリ而シテ本社ハ賴テ以テ將來豫定ノ如ク資本ヲ充實シ設備ヲ完成シテ營業ヲ發展シ得ルナリ今ヤ將本社ヲ得ニ此新販路ニ向テ爲ス所アラントス其結果ハ寧ろ本社本年ノ營業ニ成敗ヲ決スルノコトナラズ實ニ本社永久ノ運命ニ関スルナリ

明治三十八年十月三十日

竹島漁獵合資會社代表社員

中井養三郎 草

營業損益及勘定

一 本損類

金二千九百九拾六円五拾七匁九厘也

一 収益類

金七百五拾参円拾八匁五厘也

一 張負債類

金二千百四拾参円参拾九匁四厘也

甲種勘定

一 未済物品観價格

金二千七百参拾五円拾壹匁参厘也

一 観終益類

金四百九拾壹円八拾壹匁九厘也

乙種勘定

一 未済物品観價格

金四千九百七拾九円拾貳匁也

一 観終益類

金二千七百参拾五円七拾貳匁六厘也

但し甲種勘定は、賣掛未済の海産物販賣の取扱に於ては、豫算に於て乙種勘定と新販路に於ては豫算に於て其

新販路

内譯左如し

賣捌未済物品見積價格内譯

甲種 一 金四百六拾九月拾貳元也 糖油及肥料見積代金

一 金千七百七拾元月參拾貳元也 此批皮五百參拾元枚多上

一 金四百九拾四元七拾九元參厘也 以上批皮貳百六拾參元枚多上

一 金四百六拾九月拾貳元也 糖油及肥料見積代金

一 金四千五百拾元也 此批皮計九百〇枚多上

計金四千九百七拾九月拾貳元也

（本社調査、結果、糖油、肥料、糖、油、皮、計、九、百、〇、枚、多、上、内、地、内、五、月、十、日、迄、の、総、計、也、）

因記ス

本社、豫定即々登記役員本額、參千円ナレドモ實際社員ノ拂込リ得タル金額、僅カニ八百圓ナリトス今之ヲ前記負債額ニ對照シバ、實、千四百四拾參元月參拾九元四厘ノ不足ヲ生セリ此不足額、本社、拂込資本以外、一時借入金ニシテ、二社員カ營業持續、為メ、慘怛ニ苦心シテ、融通ヲ為シ、テ、モナリトス

以上

新設